

1 建物概要

建物名称	特別養護老人ホーム山科洛東園	BEE	1.1	B+	★★★
延床面積	6,982.58 m ²				
用途	特別養護老人ホーム、養護老人ホーム 病院	使用CASBEE評価マニュ	CASBEE-京都-建築(新築)2018年版		

使用CASBEE評価ソフト CASBEE京都-新築2018(v.1.0)

2 重点項目への取組度

キーワード	取組度
1 大切に使う	
2 ともに住まう	
3 自然からつくる	

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

1 大切に使う	合計点 26 /41		
■長寿命化	合計点 12 /20		
◇メンテナンスの容易性	◇物理的長寿命		
Q2/ 3.3.1 空調配管の更新性 Q2/ 3.3.2 給排水水管の更新性 Q2/ 3.3.3 電気配線の更新性 Q2/ 3.3.4 通信配線の更新性 Q2/ 3.3.5 設備機器の更新性 (注 上記5項目のスコアの平均が合計点に加算される)	スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 3	Q2/ 2.2.1 軸体材料の耐用年数 <自由記述> 床下に防湿シートの敷き込みを行う。	スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 3
<自由記述> 各階の外周部にバルコニーを設け、メンテナンスのしやすい計画とする。	<自由記述> 福祉施設に求められるバリアフリー性能を有する計画とする。		
■省資源	合計点 13 /20		
LR2/ 2.1 材料使用量の削減 LR2/ 2.3 軸体材料におけるリサイクル材の使用 LR2/ 2.4 軸体材料以外におけるリサイクル材の使用 LR2/ 2.6 部材の再利用可能性向上への取組	スコア 3 スコア 3 スコア 4 スコア 3		
<自由記述> 再生ビニルが原料として使用されているビニル床シートを使用する。	<自由記述> 地域交流スペースを設け、地域のアメニティを向上する。		
◆独自加点項目	合計点 1 /1		
LR2/ 2.1 材料使用量の削減 LR2/ 2.3 軸体材料におけるリサイクル材の使用 LR2/ 2.4 軸体材料以外におけるリサイクル材の使用	主要構造部が木造軸体である場合で、「持続可能な森林から産出された木材」を使用しており、うち地域産木材を使用している。 主要構造部に使用した「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している。 「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している。	対象外 対象外 ○	
2 ともに住まう	合計点 27 /42		
■自然とともに住まう	合計点 10 /15		
◇自然を感じられる計画	◇地域とともに住まう		
Q2/ 1.2.1 広さ感・景観 Q3/ 1 生物環境の保全と創出 Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア 4 スコア 3 スコア 3	Q3/ 3.1 地域性への配慮、快適性の向上 LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善 LR3/ 3.3.2 曜光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	スコア 4 スコア 3 スコア 3
<自由記述> 全ての居室に外部に面した窓を計画する。	<自由記述> 地域交流スペースを設け、地域のアメニティを向上する。		
■歴史とともに住まう	合計点 7 /10		
◇歴史性への配慮			
Q2/ 1.2.3 内装計画 Q3/ 3.1 地域性への配慮、快適性の向上	スコア 3 スコア 4		
<自由記述> 窓枠、家具、サインに京都府内産木材を使用する。			
◆独自加点項目	合計点 0 /2		
Q2/ 1.2.1 広さ感・景観 LR3/ 3.3.2 曜光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	京都重点項目による加点により、レベル5を超える。 格子状ルーバーや簾状スクリーンによりガラス面等の反射光を抑制している。または外壁に反射率の低い自然素材を採用している等の推奨内容の取組みを、1以上実施している。		
3 自然からつくる	合計点 30 /50		
■自然材料の利用	合計点 10 /15		
Q2/ 1.2.3 内装計画 Q3/ 3.1 地域性への配慮、快適性の向上 LR2/ 2.5 持続可能な森林から産出された木材	スコア 3 スコア 4 スコア 3		
<自由記述> 窓枠、家具、サインに京都府内産木材を使用する。			
■自然環境の利用	合計点 18 /30		
Q1/ 3.1.1 曜光率 Q1/ 3.1.3 曜光利用設備 Q1/ 3.2.1 曜光制御 Q1/ 4.2.2 自然換気性能	スコア 3 スコア 3 スコア 3 スコア 3	LR1/ 2 自然エネルギー利用 LR2/ 1.2.1 雨水利用システム	スコア 3 スコア 3
<自由記述> 各居室は床面積の1/7以上の採光上有効な面積を確保し、自然光を取り入れた明るい空間を計画する。			
◆独自加点項目	合計点 2 /5		
LR2/ 2.5 持続可能な森林から産出された木材 Q1/ 3.1.3 曜光利用設備 Q1/ 3.2.1 曜光制御 LR1/ 3 設備システムの高効率化	「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している。 デザインされた格子状ルーバーやライトシェルフ、軒、庇等、推奨内容の曜光利用設備を採用している。 デザインされた格子状ルーバーやライトシェルフ、軒、庇等、推奨内容の曜光利用設備を採用している。 評価する取組みのうち、何れかの手法が採用されている。(但し、モニメントの計画を除く) 上記の内容に加え、利用量が15MJ/m ² ・年以上となる場合。	O O O	

4 低炭素景観の創出に関する評価

<input type="checkbox"/> Q1/3.1.3 曜光利用設備	<input type="checkbox"/> Q1/3.2.1 曜光制御	<input type="checkbox"/> Q3/1 生物環境の保全と創出	低炭素景観	1 / 6項目
<input type="checkbox"/> Q3/3.2 敷地内温熱環境の向上	<input type="checkbox"/> LR3/2.2 温熱環境悪化の改善	<input type="checkbox"/> LR3/3.3.2 曜光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	kg-CO ₂ /年m ²	

5 ライフサイクルCO₂とCO₂削減率

ライフサイクルCO ₂ (ライフサイクルCO ₂ 参照値)	135.99	kg-CO ₂ /年m ²	ライフサイクル CO ₂ 削減率	+10.2%
CO ₂ 削減量	151.38 -15.39	kg-CO ₂ /年m ²		

6 ウッドマイレージCO₂とCO₂削減率

ウッドマイレージCO ₂ CO ₂ 削減効果	kg-CO ₂	kg-CO ₂	ウッドマイレージ CO ₂ 削減率	0%
---	--------------------	--------------------	---------------------------------	----

:「ウッドマイレージ計算書」から転記 :自由記述入力欄